



日本獣医師会学会関係情報



日本産業動物獣医学会・日本小動物獣医学会・日本獣医公衆衛生学会

日本獣医師会学会からのお知らせ

☆平成 30 年度 日本獣医師会獣医学術学会年次大会（神奈川） 日本獣医師会関係企画のご紹介

*講演タイトルは変更になることがあります。

大会 1 日目 平成 31 年 2 月 8 日（金）

13:00～15:30 第 5 会場（4 階・尾上）

シンポジウム「獣医学教育環境の更なる整備充実に向けて」

基調講演と問題提起	稲葉 睦（北海道大学）
獣医学教育の改善・充実に向けた取組みについて	小幡泰弘（文部科学省）
未 定	釘田博文（OIE アジア太平洋地域事務所）
未 定	高井伸二（北里大学）
大動物臨床実習の課題とその解決に向けて	佐藤 繁（岩手大学）
小動物臨床実習の課題とその解決に向けて	滝口満喜（北海道大学）

16:00～18:30 第 1 会場（3 階・ノクターン）

シンポジウム「女性獣医師の職場環境の整備に向けて」

（平成 30 年度 獣医療提供体制整備推進総合対策事業）

【基調講演】女性活躍促進と働き方改革の現状と課題	武川恵子（前内閣府男女共同参画局長）
女性獣医師活躍の現状と課題	白戸綾子（日本獣医師会）
共働き獣医師夫婦のバトンタッチ型育児休業男性型経験談 （取得の有無が及ぼす影響と職場環境について）	福中守人（十勝農業共済組合）
地方獣医師会の女性活躍促進について思うこと	竹村裕子（滋賀県獣医師会）
大学の女性活躍促進の取り組み	上村涼子（宮崎大学）
【総合討論】	

大会 2 日目 平成 31 年 2 月 9 日（土）

09:00～12:00 第 1 会場（3 階・ノクターン）

連携シンポジウム「One Health シンポジウム ―ヒトと動物の共通感染症の現状と課題、その対策―」

【基調講演】動物由来感染症のワンヘルス・アプローチについて

～①医師会から見た連携の取組状況	未 定
～②獣医師会から見た連携の取組状況	井上亮一（日本獣医師会）
ダニ媒介性感染症の生態リスク評価と管理、SFTS を含めて	五箇公一（国立環境研究所）
カプノサイトファーガ感染症の現状と課題 ～医師の立場から	小田智三（公立昭和病院）
カプノサイトファーガ・カニモルサス感染症の現状と課題 ～愛玩動物由来感染症としてのカプノサイトファーガ感染症	鈴木道夫（国立感染症研究所）
【パネルディスカッション】	

14:00～17:00 第 1 会場（3 階・ノクターン）

シンポジウム「東アジア 3 カ国獣医師会サミット ―獣医師会の連携と発展―」

【基調講演】東アジア地域における動物衛生に関する国際連携について	熊谷法夫（農林水産省）
韓国からの提言	Ok-Kyung Kim（大韓獣医師会）
台湾からの提言	Pei-Chung Chen（台湾獣医師会）
世界獣医師会からの提言	Johnson Chiang（世界獣医師会）
日本からの提言	藏内勇夫（日本獣医師会）

大会 3 日目 平成 31 年 2 月 10 日（日）

08:00～09:30 第 4 会場（4 階・千鳥）

教育講演「動物看護師の必須講座 ―このことを理解しよう」

動物介在療法の展望 ―犬の介入効果を考える	竹花正剛（R.E.A.D.D）
災害動物医療における動物看護師の役割	佐伯 潤（大阪府獣医師会）
動物行動の異常を見つける	白井晴佳（にいがたペット行動クリニック・新潟県）